

# 友の会ニュース

2009 march No.6

## “ラグジュアリー”

### [ファッションの欲望]展

～私たちはいかにしてラグジュアリーに魅了され、

それを愛するようになったか～

本展は、17世紀から現代までのファッションをラグジュアリーという視点で切り取りながら、ラグジュアリーとファッションが時代や社会のなかでどのような関わりを持ってきたかを考え、今後の新たな方向を探っていきます。現在、産業の発展によって物質的に恵まれた生活を送ることができるようになった一方で、私たちが直面しているのは、グローバルな難しい諸問題の解決に取り組まなければならないという状況です。その中で、豊かさの一つの現れともいえる、ラグジュアリーに対する考え方は、必ずしも一様なものではありません。視覚的にラグジュアリーで贅沢な表現から、より個人的で知的な遊びにも近いラグジュアリーまで。本展では、社会の動きと私たちの価値観を何よりも敏感に捉えているファッションを、ラグジュアリーという視座から再考します。「ラグジュアリー：ファッションの欲望」は「モードのジャポニズム」、「身体の夢」「COLORS ファッションと色彩」展に続くカッティングエッジなファッション展として、京都服飾文化研究財団 (KCI) のコレクションより、ラグジュアリーというテーマのもとに多角的な視点で精選した、17世紀から現代までの作品を展覧します。



(左上から時計回りに)

●ドレス (ローブ・ア・ラ・フランセーズ)

1770年代 (テキスタイル: 1750-60年代)

京都服飾文化研究財団所蔵、広川泰士撮影

●クリスタル・パレンシアガ ドレス

1960年代京都服飾文化研究財団所蔵、広川泰士撮影

●コム・デ・ギャルソン (川久保玲) コート、スカート

1983年秋冬京都服飾文化研究財団所蔵、株式会社コム・デ・ギャルソン寄贈、

広川泰士撮影

●メゾン マルタン マルジェラ (マルタン・マルジェラ) ジャケット

2006年春夏©Maison Martin Margiela, Photo by Marina Faust, Paris

#### ●関連イベント

#### 新収蔵作品展「都築響一 着倒れ方丈記」 記念アーティスト・トーク

4月12日(日) 14:00 - 15:30

京都国立近代美術館 1階・講演室

講師：都築響一

聴講無料、定員100名

(当日11:00から整理券を配布します。)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

#### 連続講演会

●第1回：4月18日(土)

「いけばな——エコリユクスな世界」

池坊由紀氏(華道家元池坊 次期家元)

●第2回：4月19日(日)

「香りとラグジュアリー——香の文化をたずねて」

畑正高氏(株式会社松栄堂 代表取締役社長)

●第3回：4月25日(土)

「オートクチュールにおける職人の世界」(仮題)

オリヴィエ・サイヤール氏 [日仏逐次通訳付]

(レーヴル宮 パリ衣装テキスタイル美術館キュレーター)

連続講演会はいずれも京都国立近代美術館

1階・講演室 14:00 - 15:30

●事前申込制(先着順、定員)。電話、ファックス、Eメールにて受け付けます。

●各回1週間前までにKCI「ラグジュアリー展連続講演会」宛へ、参加希望日、参加者氏名、ご所属、日中連絡のつくお電話番号をお知らせ下さい。詳細は同封の別紙「連続講演回」をご参照下さい。

<http://www.kci.or.jp/exhibitions/luxury/event/index.html>

※展覧会のご観覧料は別途必要であることをご了承下さい。

京都新聞創刊130年記念

## 京都学「前衛都市・ モダニズムの京都」展

●友の会主催 展覧会関連 連続企画

### 京都学「前衛都市・モダニズムの京都」展 バス・ツアー+展覧会解説会

日時：2009年6月19日(金)

9:30～18:00頃

集合場所：京都国立近代美術館 北側駐車場

#### 〈スケジュール〉

9:20 集合

9:30 出発

(チャーター・バス1台で移動します)

9:45 日本パプテスト病院(旧島津邸)見学

11:20 橋本関雪記念美術館

13:00 昼食「ガーデン・オリエンタル」

(旧竹内栖鳳アトリエ)

14:30 祇園閣(特別公開+解説)

16:30 京都学「前衛都市・モダニズムの京都」

展覧会(当館1階・講演室)

その後、展覧会を各自鑑賞

(夜間閉館のため、20:00までご覧頂けます)

**\*バス・ツアー申込方法\***

定員：40名

(先着順、友の会会員と同伴者2名まで申込可)

(最小催行人数：30名)

参加費：10,000円

振込先：銀行口座 みずほ銀行出町支店

口座番号 2338632

(振込手数料は参加者負担)

名義 京都国立近代美術館 友の会

**申込〆切：2009年5月29日(金) 17:00まで**

申込・お問い合わせ：京都国立近代美術館

庶務課庶務係 075-761-4111 (代)

(平日 9:30~17:00)

**※同封の別紙「申込書」にてお申込ください。**

すでに友の会ニュース紙上でもお伝えしていますように、「京都学」展の準備もいよいよ佳境を迎えて参りました。なお時間の許す限り、興味深い作品や資料の発掘にもつとめてゆきますが、展覧会が開幕した6月19日(金)に、展覧会ゆかりの地をめぐるバス・ツアーを企画いたしました。

今回の展覧会は、1985(明治28)年に岡崎の地で開かれた第4回内国勸業博覧会を起点に、「I. 明治モダニズム都市・京都」「II. 第四回内国勸業博覧会の波紋」「III. 工芸の新展開：ワグネルの遺産」「IV. 前衛都市・モダニズムの京都」の四章によって展覧会を構成し、すでに前回のニュースでもお伝えした黒田清輝の《舞妓》や竹内栖鳳の《平安神宮・円山公園》ほかの出品作品を含めるとともに、様々な資料を紹介して参ります。



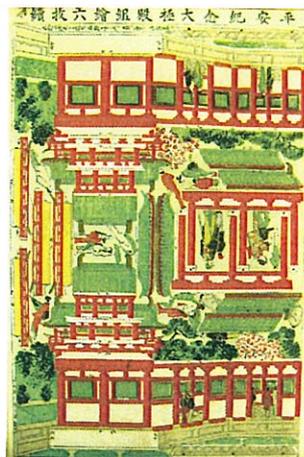
第4回内国勸業博覧会錦絵  
尼崎市教育委員会蔵

展覧会の冒頭を飾る平安神宮については、第1回の見学会でも訪問しましたが、このたびのバス・ツアーでは、個人では訪れることの難しいスポットを見学し、竹内栖鳳の私邸でアトリエでもあった「ガーデン・オリエンタル」でランチをとりながら、最後に展覧会を鑑賞するというコースを用意いたしました。

最初に訪れる日本パプテスト病院は、建築家・上野伊三郎が、島津製作所二代目の島津源蔵の別荘として設計したもので(竣工1929年)、現在病院として使用されるまで増改築がくり返されているものの、なおその面影を残す正面扉や談話室を見学します。この建物は、展覧会終了後以降に取り壊されることが決定し

ており、その意味でも「京都の前衛」を象徴する建築物として、ぜひこの機会にまぶたに焼き付けていただきたいと思います。その上野伊三郎が、当時公然と「景観破壊」として批判したのが、平安神宮の設計家でもあった伊東忠太の「祇園閣」です。これは、ホテル・オークラなどを創業した財閥・大倉喜八郎の別荘で、その異様な外観デザインは、現在も存在感に溢れ、今回特別にその内部も見学し、その「伊東忠太ワールド」と呼ばれる世界に足を踏み入れてみたいと思います。

そして最後に当館にもどり、見どころをご説明した後、展覧会を鑑賞していただくという趣向です。どうぞ多数の方々のご参加をお待ちいたしております。



平安神宮ペーパークラフト  
尼崎市教育委員会蔵

**「椿昇」展 アーティスト・トーク開催報告**

日時：2009年2月28日(土) 12:30~13:10

場所：当館1階・エントランスロビー、2階、3階・企画展示室

友の会会員と一般の予約者を対象としたアーティスト・トークを開催しました。美術家・椿昇さん本人による、作品を目の前にした明快かつ刺激的なトークは、参加者が単なる聴講者ではなく、各々が展覧会のなかで、あらゆる側面で当事者であることを暗示していました。このトークを聞くことで、展覧会に対して、そしてそのなかで扱われるテーマにおいて、各自の立場を、より自覚的に感じる貴重な機会になりました。



**\*事務局からのお知らせ\***

**●京都造形芸術大学公開講座について**

京都造形芸術大学公開講座「プロムオイルプリント(ピクトリアリズム(絵画主義写真)体験講座)」に、当館友の会会員10名の特別枠を設けています。詳細は同封のチラシをご覧ください。

**●友の会会員特典の追加について**

4月から新しく国立民俗博物館の観覧料割引が、友の会会員特典として追加されました。特典の詳細は、同封の「友の会会員特典」をご覧ください。